

「日野原重明メモリアルルーム公開記念講演会に参加して」

三木哲郎 日野原重明記念「新老人の会」大阪 代表
「新老人の会」全国連絡会副代表

生前に日野原先生が所蔵されていた蔵書（約 4500 冊）と、書斎の一部（愛用の机、ワープロや筆記用具類）を展示して、「日野原重明文庫＝日野原重明メモリアルルーム」が琵琶湖の西岸、北小松の滋慶学園グループの立派な施設「湖邸滋びわこクラブ」内に設立されました。その公開記念講演会として、日野原重明記念新老人「滋賀の会」主催で令和元年 10 月 13 日（日）に開催されました。

前日に台風 19 号が本州南端に接近したため、参加予定であった東京や熊本などから多くの会員の皆さんが来訪できませんでした。今後、この「日野原重明文庫」は、米国ニューヘブレン「ホィットフィールド・万次郎友好記念館」に匹敵する文庫になると考えます。

これまで「新老人の会」の全国の組織は、ライフ・プランニング・センターが統括して全国各地に支部組織が存在する形をとっていましたが、本年 10 月 1 日から本部も独立した一組織となり、全国 33 カ所に旧支部を基盤とする独立した組織が生まれました。これらの各会がゆるやかな連携をもっていくため、「全国連絡会」が組織されました。

代表に熊本の小山和作先生、副代表に、奈良の吉田修先生、千葉の植村研一先生、大阪の私、事務局長に石清水由紀子さんが就任することになりました。13 日は、代表の小山和作先生が欠席となりましたので、私が代理として挨拶させていただきました。

そして、「全国連絡会」が中心となって、これまでのジャンボリーのようなお祭りの集まりを地方で、学会形式の集まりを東京で交互に開催することを提案しました。

嘉田由紀子世話人代表は日野原先生と琵琶湖との繋がりについてお話しされました。3 名の記念講演演者である、日野原真紀さんからは「最後まで自分らしく生きられた日野原先生について」、角野文彦先生からは「滋賀県の健康長寿日本一は社会参加から」、松下唯夫先生からは「モンゴル人の自然・健康法」について具体的で分かりやすいお話を伺いました。

講演の後、「文庫」の隣に位置するラウンジで琵琶湖の広大な風景を眺望に、参加された各地の会員の自己紹介や会の様子などを拝聴し、夕食交流会を満喫しました。

「滋賀の会」の皆様のおもてなし、有難うございました。